

(4面から続く)

一年間に浮くのではないですか。これは夢です。夢創 観光地をつくって夢創を実現したいかがでしょうか。

コールセンターの導入を

沖本議員(市政クラブ) 「コールセンター」事業について 自治体におけるコールセン

しのお言葉をいただきました。観光資源がない中ではありませんが、何か一つでも、関心を高めることができるのであれば、それを地域おこしの一つの起爆剤として育てていけるよう前向きに取り組んでいきたいと思ひます。

ターとは、市民から寄せられる電話などの問い合わせに際しての専用窓口のことです。コールセンターの導入は、住民

公共施設の芝生化について

京免議員(政和会) 公共施設の芝生化について ことについて、従来の事業方式で弊害だったのが、設置費用が多額で毎年の管理費用も必要であり、厳しい財政状況の中、優先順位を考えると当局にはあきらめの気持ちがあったのではないかと思います。

一つと想うので所見を伺います。 市長 エアレーションから出る一センチくらいの株を散発的に置くことにより広がっていくというもので、明るい可能性を感じます。従来の事業方式では弊害もありましたが、これが安価で手間がかからず、一定の方々の前向きな姿勢があればできるというふうに思ひますが、本市の環境を考えた場合、一定のノウハウの蓄積が必要だと思います。

例えば、立野台の青少年センターの中心が荒れている状態なので、試験的に導入してノウハウの取得をするなど検討させてみたいと思ひます。

中学校完全給食の早期実施を

小野議員(公明党) 平成二十一年度予算編成について 平成二十一年度予算編成で、中学校給食のあり方検討懇話会が設置されました。懇話会

は、学校関係者、保護者の代表や学識経験者など九名で構成され、二十一年から二年かけて検討されることとす。本市にとって最適な方式や運営方法をしっかり検討してい

サービスの向上、市役所各部署の事務作業の効率化、そして、市民ニーズの把握、収集した情報を基にした業務の改善、政策立案にも活用できま業務効率化の観点で言うならば、職員による電話対応は市民サービスとして大切なことではあります。本来なすべき主体作業ではなく、付随作業、すなわちムダな作業であると考えられます。ムダの排除」という民間的な考え方から、導入についての所見を伺います。

市長 議員のご指摘については私も十分に理解をしております。全体の効率化を図っていくということは、民間的な視点から考えても価値を見出すわけであり、即応性という部分も含めて、検討・勉強をしていく価値は十分にあるうかと思っています。

中澤議員(日本共産党) 太陽光発電の普及について 二酸化炭素排出量の九〇%がエネルギーに由来することからみても、エネルギー対策は地域温暖化対策の要です。太陽光発電設備をつければ一世帯あたり年間一トンを以上の二酸化炭素が削減されます。私はこの立場から、個人住宅

用太陽光発電普及とそれに對する助成、市の公共施設への設置を数年前から求めてきました。その結果、本市は昨年からは原三(建設中)や入谷小学校、水道施設など、市の施設に設置することを決め予算化しましたが、肝心な個人住宅用助成制度を昨年廃止してしまいました。

竹市議員(民主・市民連合) 市長の政治姿勢について 財団法人座間市開発公社について前市長は、昨年六月の定例会で「今後近いうちに存続について見直される時期が来るのではないかと判断している」と見解を示した上で、「最終的なことは次の方に委ねたい」ということでした。そこでお尋ねいたします

国は、二〇〇五年度に廃止した補助金制度を今年になって復活し、一キロワット当たり七万円(上限二十五万円)の補助を復活。県も今年度から太陽光発電の設置に対して一キロワット当たり三万五千円(上限十二万円)を補助しています。したがって、本市が以前のように一キロワット

踏切の安全対策を!

伊藤議員(政和会) 踏切の安全対策について 相武台から市役所に向かう市道十七号線の相武台三号踏切は、歩行者専用の横断通路ができ、安全対策がとられました。一方、シロタ産婦人科前の市道三十二号線にある小田急相模原六号踏切は、カラー舗装はされていますが、踏切前後の道路の幅員より踏切内が狭隘なため非常に危険な状態です。また、近くに小田急線を渡る陸橋もないため、この踏切を利用することが多く、たくさん車の車両が通行しています。踏切の幅幅を回り、安全対策を願うものですが、市の対応と考を伺います。

踏切の安全対策について、踏切前後の道路の幅員より踏切内が狭隘なため非常に危険な状態です。また、近くに小田急線を渡る陸橋もないため、この踏切を利用することが多く、たくさん車の車両が通行しています。踏切の幅幅を回り、安全対策を願うものですが、市の対応と考を伺います。

都市部長 市道三十二号線については、カラー舗装により一定の効果を得ているものと判断しています。踏切の幅幅につきましても、多大な費用と時間が必要なことや、踏切前後の道路との幅員不整合など早期の解決は困難と考えます。今後の課題とさせていただきます。

安海議員(神奈川ネット) サニークッズについて 閉会中の継続審議において「座間市が培ってきた療育システムを堅持し、さらにより強い答弁を委託先法人と当局担当者の双方よりいただきましたが、その後、保護者の不安・不満が解消したとは認められません。再度サニークッズの事業委託についてお尋ねします。

保健福祉部長 社会福祉法人への委託については、サニークッズで行われている児童デイサービスだけを委託するもので、母子保健事業、乳幼児発達支援事業、子育て支援事業や市の専門職によるフットグループ等々と連携しながらきめ細やかな対応と支援を行ってまいります。

佐藤議員(政和会) 基地問題について 日本の平和と安全の維持のために、国策として日米安全保障条約が存在していると考えます。国防は日本全土の平和と安全を維持するものである以上、基地の負担を一部自治体に任せるのではなく、国全体として応分の負担を考へるべきだと考えます。本市が行なった基地強化に対する反

太陽光発電の助成復活を

竹市議員(民主・市民連合) 市長の政治姿勢について 財団法人座間市開発公社について前市長は、昨年六月の定例会で「今後近いうちに存続について見直される時期が来るのではないかと判断している」と見解を示した上で、「最終的なことは次の方に委ねたい」ということでした。そこでお尋ねいたします

竹市議員(民主・市民連合) 市長の政治姿勢について 財団法人座間市開発公社について前市長は、昨年六月の定例会で「今後近いうちに存続について見直される時期が来るのではないかと判断している」と見解を示した上で、「最終的なことは次の方に委ねたい」ということでした。そこでお尋ねいたします

竹市議員(民主・市民連合) 市長の政治姿勢について 財団法人座間市開発公社について前市長は、昨年六月の定例会で「今後近いうちに存続について見直される時期が来るのではないかと判断している」と見解を示した上で、「最終的なことは次の方に委ねたい」ということでした。そこでお尋ねいたします

竹市議員(民主・市民連合) 市長の政治姿勢について 財団法人座間市開発公社について前市長は、昨年六月の定例会で「今後近いうちに存続について見直される時期が来るのではないかと判断している」と見解を示した上で、「最終的なことは次の方に委ねたい」ということでした。そこでお尋ねいたします

どうなる座間の療育システム

保健福祉部長 社会福祉法人への委託については、サニークッズで行われている児童デイサービスだけを委託するもので、母子保健事業、乳幼児発達支援事業、子育て支援事業や市の専門職によるフットグループ等々と連携しながらきめ細やかな対応と支援を行ってまいります。

保健福祉部長 社会福祉法人への委託については、サニークッズで行われている児童デイサービスだけを委託するもので、母子保健事業、乳幼児発達支援事業、子育て支援事業や市の専門職によるフットグループ等々と連携しながらきめ細やかな対応と支援を行ってまいります。

保健福祉部長 社会福祉法人への委託については、サニークッズで行われている児童デイサービスだけを委託するもので、母子保健事業、乳幼児発達支援事業、子育て支援事業や市の専門職によるフットグループ等々と連携しながらきめ細やかな対応と支援を行ってまいります。

基地への基本的 取り組みを問う

佐藤議員(政和会) 基地問題について 日本の平和と安全の維持のために、国策として日米安全保障条約が存在していると考えます。国防は日本全土の平和と安全を維持するものである以上、基地の負担を一部自治体に任せるのではなく、国全体として応分の負担を考へるべきだと考えます。本市が行なった基地強化に対する反

佐藤議員(政和会) 基地問題について 日本の平和と安全の維持のために、国策として日米安全保障条約が存在していると考えます。国防は日本全土の平和と安全を維持するものである以上、基地の負担を一部自治体に任せるのではなく、国全体として応分の負担を考へるべきだと考えます。本市が行なった基地強化に対する反

佐藤議員(政和会) 基地問題について 日本の平和と安全の維持のために、国策として日米安全保障条約が存在していると考えます。国防は日本全土の平和と安全を維持するものである以上、基地の負担を一部自治体に任せるのではなく、国全体として応分の負担を考へるべきだと考えます。本市が行なった基地強化に対する反

開発公社の存廃を問う

竹市議員(民主・市民連合) 市長の政治姿勢について 財団法人座間市開発公社について前市長は、昨年六月の定例会で「今後近いうちに存続について見直される時期が来るのではないかと判断している」と見解を示した上で、「最終的なことは次の方に委ねたい」ということでした。そこでお尋ねいたします

竹市議員(民主・市民連合) 市長の政治姿勢について 財団法人座間市開発公社について前市長は、昨年六月の定例会で「今後近いうちに存続について見直される時期が来るのではないかと判断している」と見解を示した上で、「最終的なことは次の方に委ねたい」ということでした。そこでお尋ねいたします

竹市議員(民主・市民連合) 市長の政治姿勢について 財団法人座間市開発公社について前市長は、昨年六月の定例会で「今後近いうちに存続について見直される時期が来るのではないかと判断している」と見解を示した上で、「最終的なことは次の方に委ねたい」ということでした。そこでお尋ねいたします

竹市議員(民主・市民連合) 市長の政治姿勢について 財団法人座間市開発公社について前市長は、昨年六月の定例会で「今後近いうちに存続について見直される時期が来るのではないかと判断している」と見解を示した上で、「最終的なことは次の方に委ねたい」ということでした。そこでお尋ねいたします

竹市議員(民主・市民連合) 市長の政治姿勢について 財団法人座間市開発公社について前市長は、昨年六月の定例会で「今後近いうちに存続について見直される時期が来るのではないかと判断している」と見解を示した上で、「最終的なことは次の方に委ねたい」ということでした。そこでお尋ねいたします

竹市議員(民主・市民連合) 市長の政治姿勢について 財団法人座間市開発公社について前市長は、昨年六月の定例会で「今後近いうちに存続について見直される時期が来るのではないかと判断している」と見解を示した上で、「最終的なことは次の方に委ねたい」ということでした。そこでお尋ねいたします